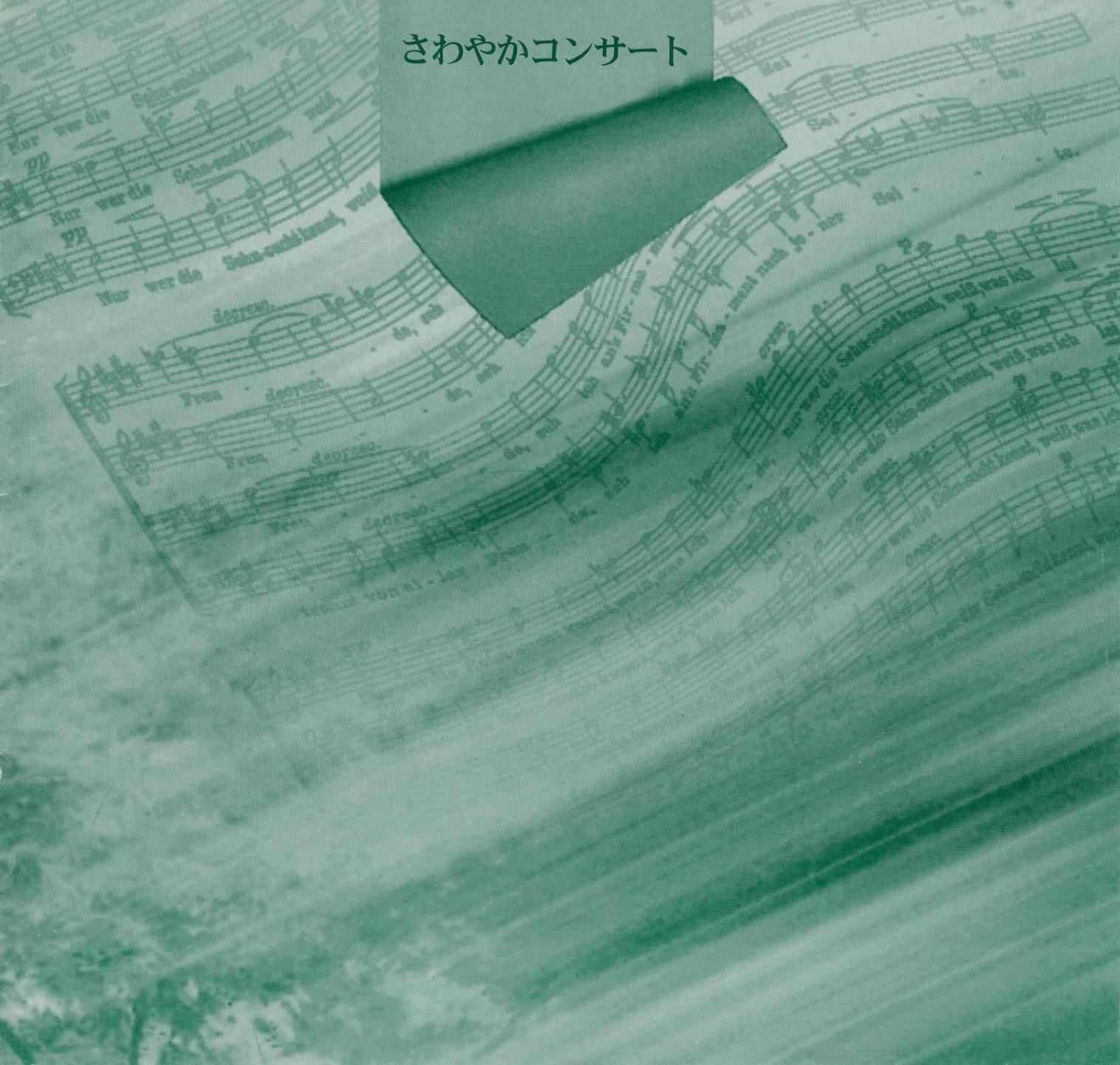


さわやかコンサート





東西四大学OB合唱団東海 第2回定期演奏会
さわやかコンサート
1999年4月17日(土)
4時30分開演
しらかわホール

さわやか

その言葉の、何という口あたりのよさ
からだの、すみずみにまで広がる心地よさ

愛

その、ためらいを持った響きは甘く滑らかすぎて
しかしそこに
深い悲しみ、苦しみ、痛みが含まれていることは
たれもが知る
行き交う人のすべてが美しい春の夕まぐれに
さわやかに愛

P ROLOGUE

作曲：向川原 慎一
指揮：成田 正人

1

愛のシユーベルト

Die Nachtigall (小夜啼鳥)
Andenken (君を想う)
Sehnsucht (ただ、憧れを知る者のみが)
Geist der Liebe (愛の精靈)

指揮：向川原 慎一

2

アイシテルーノ、ウッタイーノ、イタリアーノ

帰れソレントへ
遙かなるサンタルチア
イタリア狂騒曲チャンコ風
カタリ・カタリ
何でも屋の歌（セヴィリアの理髪師より）

編曲：稻熊 裕之
伊藤 奈菜子

編曲・指揮：向川原 慎一
ピアノ：西野 亜理紗

弦楽アンサンブル：オーネンストリングス
オーボエ：小室 真美

メゾソプラノ：夏目 久子

合唱：アンサンブル シオン

アンサンブル円

女声合唱団「アマリリス」
東西四大学OB合唱団東海

3

ソプラノと男声合唱によるファンタジー 絵描きと少年

序 章 さわやかな風が
第一章 見たい・・・
第二章 カクマク
第三章 やくそく
第四章 無言歌
終 章 夢を継ごう

作：なりた まさと

指揮：成田 正人

絵描き（ソプラノ）：橋爪 圭子

少年：向川原 かよ

1

シューベルト！

フランツ・ペーター・シューベルト（1797年1月31日生、1828年11月19日没）は、ウィーンで生まれ、ウィーンで教育を受け、終生ウィーンで生活をし、ウィーンで没した数少ない音楽家である。よく知られているように、小学校教師の子として生まれ、音楽好きの父や兄から音楽の手ほどきを受け、ウィーンの帝室神学校で宫廷礼拝堂合唱児童として名匠サリエリから専門の音楽教育を受けた。神学校を出たあと、ごく僅かの間父の学校で教師を務めた他はこれといった定職に就かず、また住居すら定めず親しい理解ある友人たちの間を転々とするボヘミアンのような生活を続ける中で創作にいそしんだ。

シューベルトの名を不朽にしたのは何といっても歌曲であるが、次いでは重唱・合唱曲、特に男声合唱作品の数々といってもよかろう。シューベルトの時代のウィーンには、同じ頃ベルリンに見られたリーダー・ターフェルのような市民レベルでの大規模な合唱団はなかった。このような団体の設立は、当時のメッテルニヒ政権から不審の眼で見られたからである。そんなこともあって、シューベルトの周囲で彼の作品を支持し、歌ってくれたのは、友人である宫廷や教会に属する専門の歌手たちであることが多く、このような演奏が時には劇場で、また

時には友人たちの私的な集いで人気を博し、広く受け入れられていったのであり、今の感覚でいうアマチュア合唱団というものは少し異なった状況であった。シューベルトの合唱曲の中で、宗教音楽は別として、男声合唱が多いというのはこういった演奏者に恵まれていたからに他ならない。

ピアノ伴奏付きの2曲は1821年から22年に作られ、四重唱でありながら独唱曲のような雰囲気に満ち、さらには各パートに花を持たせるべく輪唱のコーダをもつていて、社交的な性格もまた強い。〈小夜啼鳥〉^{ナイトingル}は、ナイチングールの歌声に愛と自然のやさしさ、ひそやかさ、はかなさを聴く。また、〈愛の精霊〉は、黄昏と共に若者に恋をもたらすという精霊を、伸びやかな美しい旋律を重ねて後期ロマン派への萌芽を思わせるような大胆な転調の中に歌う。

無伴奏の〈君を想う〉は、静かな感傷に満たる愛の歌。平明な三重唱の内にハッとするようなハーモニーが隠れている、19歳のシューベルトのみずみずしい感情の発露。そして様々な試みを経て1819年に完成したくただ、憧れを知る者のみが〉は、低声に重点を置いた男声五重唱という当時も今も異例な編成、頻繁な転調、幅広い強弱変化によって、少女の運命や感情よりも、遠く隔たった愛の対象への激しく狂おしいまでの憧れを歌う。

シューベルトの男声合唱の魅力は、何といっても、微妙に移ろう和声の音響的美しさ、歌曲にも匹敵する自由で強固な旋律と構成感、そしてそれらによって紡ぎ出される、苦しいまでの憧れ、爆発的な喜び、やり場のない絶望、深い諦観といった人間の心に潜む様々な情感であろうか。

しらかわホール自慢のウィーンの名器、ベーゼンドルファー・ピアノの音色と共に、今宵最初のプログラムをお楽しみください。

2

二転三転 イタリアン・メロディー選曲裏話

今回の「さわやかコンサート」で1ステージ、イタリアものをやろうということは、わりと早い時期に決まつていました。ところが、曲目を選ぶ段になると、編曲者として困り果ててしまいました。

リクエストが多すぎるので。

これはきっと、日本人の音楽教育と無縁ではないようと思いつつですが、中学・高校の音楽の教科書を見ると、世界の音楽への入口は、イタリア民謡から始まっていることに気がつきます。そしてカンツォーネがあって、古典イタリア歌曲があって、行き着くところは「蝶々夫人」の“ある晴れた日に”と、こうなるわけです。

というわけで、メンバーの皆さんがよくご存じでいらっしゃるものですから、あれがいい、これがいいということになって、私一人、厄介を抱え込むことになってしまったのです。

そもそも、今私が一番やってみたい贅沢は、プッチーニのイタ・オペラをBGMに、イタリア・ワインを飲みながらイタ・メシを食べることでありまして、それほどプッチーニのオペラが好きなものですから、当初私が出した曲目構成案には、「ある晴れた日に」や「歌に生き愛に生き」が入っておりました。

とまあ、いろいろ糸余曲折があって、本日の曲目に決定したのであります。編曲も3人で分担して行いました。「カタリ、カタリ」の編曲は向川原さん、「カタリ、カタリ」と「何でも屋の歌」のオーケストレーションを、伊藤奈菜子さん（トップテナー伊藤高潤さんのお嬢さん）にお願いし、残りは私が編曲しました。

遙かなるサンタルチア

最初の曲を何にするか、これを決めるのに一番時間がかかったように思います。せっかく音響のいい白川ホールで歌うのだから、1曲ぐらいア・カペラの曲があつてもいいじゃないか、ということで無伴奏の男声合唱に編曲しました。

帰れソレントへ

ピアノ伴奏付きの女声合唱に編曲しました。私と同じ同志社校友でいらっしゃる夏目久子先生に歌っていただけたと聞いて、うれしさのあまりソロパートを書き込みました。

イタリア狂騒曲チャンコ風

オーケストラ付き混声合唱のメドレーです。民謡もカンツォーネもオペラもごちゃ混ぜになっていますので、チャンコ風というタイトルを付けました。さて、どんな曲が飛び出すか、お楽しみに。

カタリ、カタリ

この曲だけは、向川原さんが自分からアレンジするとおしゃったんですが、歌以外の部分のアレンジを聴いていただくと、この失恋の曲について相当の強い思い入れがあったように感じられます。

何でも屋の歌（「セヴィリアの理髪師」から）

かなり以前のことですが、マカラニ・ウェスタンのスター、ジュリアーノ・ジェンマ主演の映画で、「イタリア式恋愛狂騒曲」だったか、そんな感じのタイトルの映画を観たことがあります。そのBGMにこの曲が使われていたことを覚えてますが、そもそもこのオペラは、私に編曲の手ほどきをしていただいた、故福永陽一郎先生の十八番だったのです。

そんな背景もあり、私自身にとってこの曲の編曲は来年2月で亡くなられて10年になる、先生へのオマージュでもあります。

稻熊 裕之

3

少年はパパを目指す？

* 絵描き役：我等がマドンナ橋爪圭子先生が円熟のわざで。
* 少年役：マエストロ向川原の愛娘かよちゃんが持ち前の可愛さで。
* ピアノ：新進気鋭の水野勝先生が力強く繊細なピアニズムで。

昨年1月の“なごやかコンサート”で発表した『パパの子守歌』は、作者本人の予想を超える反響で、沢山の方々から過分なお言葉を頂戴しました。広島と九州の合唱団が、夫々の演奏会で採り上げてくださる話も出ています。そんな皆様の温かい後押しを受けて、今回も新作発表と相なりました。

『子守歌』では男声合唱で“若いお父さんのサラリーマン”を演じたわけですが、今回は一転して“眼の不自由な少年”的役になります。すべてを我々お父さんたちで演じようとすると、イメージ的に無理な部分が出てきます（失礼!?）ので、少年役を前に立てて、絵描き役との会話によってストーリーを展開する形式にしました。

* * *

物語は、陽だまりの公園で女性の絵描きがキャンバスに向かっているところから始まります。フェンスを隔てた庭に少年。さわやかなそよ風が二人の心を結び付けます。絵描きも少年も“美しいもの”に焦がれていました。

いつの日にか見えるだろうか
この美しい世界のすべてを

(少年)
僕は見たい

ジャスミンの淡いつぼみがほつと開くところを
サッカーボールがゴールネットを揺らすところを
ヴェガとアルタイルが天の川を挟んで輝くところを
子犬が思いっきりしっぽを振って
こっちに駆けてくるところを

それから…僕は見たい
いろんなものが見えるようになった僕を見て
お父さんやお母さんが喜んでるところを

(絵描き)

わたしは見たい

ジャスミンの淡い花の香しさを
梢を揺らして踊っている風の色を
ヴェガとアルタイルの一途なこころを

優しいぬくもりを

そして…わたしは見たい

それらがわたしのキャンバスの上で
絵の具をまとめて輝いている姿を

瞳や虹彩を護る眼球壁の一部で、厚さ約1mm、血管はなく神経が無数にちりばめられている角膜。その角膜を健全なものと交換すれば、少年の眼は元通り見えるようになるかも知れません。あとは角膜の提供待ちです。

友達のいない少年は、絵描きにこれからも時々この公園へ来ておしゃべりしてほしいとお願ひします。快諾を得て、代わりに何がしてほしいかと尋ねる少年に、絵描きは「眼が見えるようになったら私の絵を描くお手伝いをしてはどう？」と答えました。二人の約束成立了。

少年は、やがて角膜手術を受けることができるようになりました。そして…

* * *

『子犬のチロの物語』や『天使のパンツ物語』も含め、私の音楽物語シリーズの通奏低音は、あくまで“いのちの讃歌”“生きるということ”です。これまでと同様、この作品を通して一人でも多くの方々に『生きるエネルギー』をお届けできればと思います。

さてさて、この『少年』は前回の『パパ』を超えることができるでしょうか。父親としては子供にそうあってほしいと願うものなのですが…

なりた まさと

PROFILE

伊藤 奈菜子（編曲）

愛知淑徳高校卒業後、国立音楽大学入学。現在、作曲科4年在学中。作曲をTomas Meyer=Feibig氏に師事し、邦楽にも意欲的に取り組んでいる。

小室 真美（オーボエ）

愛知県立芸術大学在学中。オーボエを小畠善昭氏に師事。室内楽を菅原眸氏、中川良平氏、村田四郎氏に師事。

夏目 久子（メゾソプラノ）

同志社女子大学音楽学科声楽専攻卒業。関西、名古屋二期会、大阪喜歌劇楽友協会、名古屋文化振興事業団などのオペラ、オペレッタ、ミュージカルに多数出演。現在、名古屋二期会、名古屋演奏家ソサエティ会員のほか、名古屋四重唱団、アメリカ歌曲研究会などのメンバーとして意欲的に活動している。

西野 亜理紗（ピアノ）

武藏野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。田中典子・宇野恭子、市田儀一郎、萬歳典子、竹中勇記彦、各氏に師事。'91TV愛知主催“New Classic Artist”'93ピアノ・ソプラノデュオリサイタル、'96スタジオ・ルンデ主催<X>コンサートに出演。現在、声楽・合唱等の伴奏を務める。

橋爪 圭子（ソプラノ）

愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業。オペラ、ミュージカルに多数出演の他、ドイツ歌曲やアメリカの歌によるリサイタルを5回開催。

現在、同朋高校音楽科及び名古屋音楽学校講師。名古屋二期会会員。

稻熊 裕之（編曲）

1979年同志社大学卒業。グリークラブ在籍中に指導を受けた故福永陽一郎氏の影響で編曲を手掛ける。東海クローバークラブ指揮者。

成田 正人（指揮）

学生時代より合唱指揮に携わる一方で創作活動に勤しみ、最近は『子犬のチロの物語』『パパの子守歌』等“生きるということ”を通奏低音とした音楽物語シリーズを相次いで発表。かと思うと「全国童謡歌唱コンクール」に出場しグランプリ大会で銀賞を受賞するなど、各地で乱行非行を重ねている模様。某メーカー勤務と自称しているがかなり疑わしい。「カンタービレひまわり」顧問指揮者。

水野 勝（ピアノ）

名古屋芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。河原元世、横山裕、岩田みよ子の各氏に師事。「さざなみ混声合唱団」、「カンタービレひまわり」他、合唱・声楽・器楽の伴奏を精力的に務め、4WDを駆って東奔西走の毎日。日本音楽審議会愛知県地区審査員、半田市芸術協会会員、セレーナピアノ会会員。当団とは初顔合わせだが、今宵もそのキレの良いピアニズムで我々をノセてくれるはず。

向川原 慎一（指揮）

1949年名古屋市生まれ。早稲田大学第一政治経済学部政治学科卒業。高校時代から合唱に親しみ、大学ではグリークラブでパートリーダー及び学生指揮者を務める。

その後も女声合唱の指導や、混声合唱・男声合唱の経験を重ね、本業の会社経営のかたわら合唱及び作曲編曲の音楽活動を続けています。名古屋稻門グリークラブの指揮者を経て現在に至る。小林研一郎氏に師事。

アンサンブル シオン

「僕たちと一緒しませんか。」同志社グリーO Bの方からのお誘いをきっかけに、唱うことの大好きな仲間が集まりました。

声楽家として幅広く活躍されている夏目久子さんを中心に、声楽家、ピアノの先生、英語の先生、プロの主婦、卒業して間のないフレッシュギヤル等、様々なか分野、年代の人達に輪が広がりました。合唱経験も色々で、現役で活躍中のベテランの方から、学生時代以来、遠ざかっていた人もいて、正に、チャンコ風アンサンブルシオンの結成です。

当初、抱いていた「ヤミナベ状態になるのでは」という微かな不安は、練習が始まるとすっかり吹っ飛び、回を重ねるごとに楽しい交流も生まれ、今では、声のハーモニーはもちろん、心温まる「チャンコナベ」の味を、感じるようになってきました。

今回のように、大きく深いハーモニーの響きの中にいると、心の底から揺さぶられるようで「歌は世界共通の言葉」と実感します。

このコンサートを聴きにきてくださった皆様とも、同じ気持ちを共有できたら、そして、この機会を素敵なお第一歩として、今後も感動を求めて活動していけたら、と願っています。

アンサンブル円

アンサンブル・円は“一人一人が歌えて、ゆくゆくはアンサンブルができる様にしたいねエ”と希望だけは大きく名前につけてしまった合唱団です。でも中々実力が伴わないので、冠を取ってしまっては、との声もありましたが、コレ！という代わりの名前の決定打がないことと、“アンサンブル・円”という名前にすでに愛着を覚えてしまっているので、目標なんだから、まあいいかと言う事になりました。

団員は気の抜けない愉快な人達で、全員が本来の歌好きに加えて一緒に一つのことをやれる時間を大切に思っていることが、仲良く続いている秘訣です。そして、アンサンブル・円として第3回演奏会の日程も決定しました。（1月22日・水・伏見ザ・コンサートホール）このコンサートで私たちと一緒に歌いませんか？ぜひ一度ご連絡ください。【濱本：TEL（052）762-7684】

詩の心や言葉の持つニュアンスを表現し、指導者の倉知先生、ピアニストの榎葉先生、ヴォイス・トレーナーの谷上先生方とご一緒に心温まる音楽を作っていくたいと思っています。本日は素敵なお男性に囲まれて歌えるなんて、とてもとても幸せです。感謝！！

SOPRANO

井上 祥子	大脇 薫	葛西みな子
片田 綾乃	神部 直子	後藤みどり
郡 由美	野村 昌子	原 直美
松村 道子	矢島 愛子	矢田ゆりこ

M Ezzo.

今橋満里子	河村由美子	都築 彩子
中上 恭子	夏目 久子	

A RTO

兼重トミ子	鈴木 清子	玉田 曜子
中久木美賀	山田 永子	

SOPRANO

穂山 和子	宿野 千鶴	上坊寺真千子
鈴木 直美	関本 昭子	細谷 久子
向井 敏子		

M EZ.SOO.

阿部 文子	今井 節子	高橋 雅子
竹花 和子	堀田 智子	

A RTO

家田佳津子	市川 弘子	末広 東子
富田多美子	長谷川厚子	濱本すなほ

女声合唱団「アマリリス」

小学校 P T A を離れ、「女声合唱団アマリリス」として、すでに 18 年の歳月が流れました。

愛知県合唱連盟、東海主婦のコーラス連盟に加入し、連盟の合唱祭、大府市合唱祭、愛知県芸術祭オープニング公演に名フィルと共に演、オペラ、オペレッタ、ミュージカル等、積極的に参加して参りました。また、平成 9 年、10 年にはイタリアの「マベリーニ管楽アンサンブル」と共演、平成 9 年にはシアトルでミュージカルに合唱出演し、多くの人々と国際交流も深めて参りました。

人生が始まったばかりの少女になったり、魅力的な大人の女性に変身したりと、これからも色々な歌にチャレンジしてゆきたいと思っております。

ユニークな指導法で女性らしい持ち味を充分に引き出してくださる小堂先生と共に、今後も幅広く活躍していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

オーネンストリングス

このコンサートを主催するのが「東西四大学 O B 合唱団」ならば私達の「オーネンストリングス」は器楽の O B 合奏団とでも申せましょうか。大学オーケストラの O B や社会人のアマチュアで組織されている名古屋市民管弦楽団の O B が構成メンバーです。私達のグループには規約も組織図もありません。それでもなんとかやっていけるのは、色々な事情で大きなオーケストラは卒業させてもらったけれど、一人一人やっぱり音楽は大好きで、これからも気の合った仲間達と音楽するチャンスを大切にしていきたいという思いでまとまれるからかも知れません。思い付くまま私達の事を・・・。

- ・設立は平成 7 年秋 練習は月 2 回（日曜午前）
- ・唯一、定期的に名古屋掖済会病院内でのクリスマスコンサート
- ・オーディションはありませんが入団資格は ** 歳以上とか。
- ・指揮、編曲、そしてお料理・とお世話になっているのは山田純さん。先生とは絶対呼ばせてもらえないでマエストロとかジュンさんとか呼んでいます。今日はオケでは出番がないということでお B 合唱団にまじり、バスを歌っています。
- 「音楽を通して人と繋がる」という、きっと私達と同じ思いの皆さんと、今日の手作りコンサートを楽しみたいと思います。

Soprano
小野 礼子 近藤 潤子 濱嶋 鈴代
山本 泰江

Mezzo-soprano
相羽美津子 川田 幸子 小堂ひとみ
高谷 則子 畠 和子 水田 美穂

Alto
鈴木岐美子 築波 直子 坂野 弘子
横井登美子

Musical Director
山田 純

Cello
石丸 晴久 大島 真美 大矢 瞳美
西尾 芳孝 羽藤真理子 宮本 由美
村瀬 享子 村瀬 芳己 村瀬 順子

Viola
杉藤 浩司 炭谷多美子 森田 茂武

Cello
小川 幸一 伊村 衛 伊藤 正伸

Bass
戸倉 保男

東西四大学OB合唱団東海

1997年、奇しくもシューベルト生誕200年が話題になった年に誕生した「東西四大学OB合唱団東海」は、翌1998年1月に第1回目の演奏会「なごやかコンサート」を開き、そしてこの度第2回目の演奏会である「さわやかコンサート」を開催することになりました。

団の結成当時は文字通り東西2大学づつ、4校のOBで構成されておりましたが、その後メンバーも増え、今や関東から九州まで全国各地の大学のOBが参加するようになり、「全国大学OB合唱団」と名称を変えなければいけないのではないか、との声もあがっているほどです。

本日は「名古屋ボストン美術館」の開館日でもあり、私どものコンサートの前に「絵画」を楽しめた方もお見えになるかと思いますが、今からは「音楽」をごゆっくりお楽しみください。まもなく開演でございます。

Lin Lon la li Lun
la li Lun Lin Lon . . .

T OP TENOR

池田 研一	伊藤 高潤	鹿住 誠
片田 保彦	神谷 立正	佐々木正義
高橋 克	田中 良夫	三ツ松 平

S EC.TENOR

新谷 岳史	石井 清	伊東 健光
黒田 泰男	柴田 道昭	間瀬 譲
三ツ口勝久	森重 雅夫	吉居 清

B ARITONE

木葉 晴之	高見 浩一	永井 一美
成田 正人	西村 一男	長谷川利孝
弘瀬 嘉夫		

B ASS

浅井 良之	稻熊 裕之	井ノ口貴敏
鹿島田秀夫	科野 輝藏	富田 敏夫
宮崎 嘉夫	山田 純	

東西四大学OB合唱団東海 スタッフ

会長	柴田 道昭 (慶 応)
副会長	佐々木正義 (同志社)
	高橋 克 (早稲田)
幹事長	三ツ松 平 (慶 応)
涉外	科野 輝藏 (同志社)
	三ツ口勝久 (慶 応)
	黒田 泰男 (早稲田)
会計	伊藤 高潤 (関 学)

音楽スタッフ

指揮者	向川原慎一 (早稲田)
副指揮者	成田 正人 (慶 応)
パートリーダー	
T 1	田中 良夫 (慶 応)
T 2	伊東 健光 (慶 応)
B 1	広瀬 嘉夫 (同志社)
B 2	浅井 良之 (早稲田)
サブ	稻熊 裕之 (同志社)
演出	森重 雅夫 (九州大)

1999.4.1現在

合唱団へのご連絡は下記へ

(幹事長) 三ツ松 平

☎ 470-0154

愛知県愛知郡東郷町

和合ヶ丘1-11-3

☎ 05613-8-0734

Al -lein und ab - ge -

Brennt von ei - ler Freu

Nur wer die Sahn-ecke kennt wird was ich

東西四大学OB合唱団東海 第2回定期演奏会

さわやかコンサート

「愛のうた」

合唱：アンサンブル シオン

アンサンブル・円

女声合唱団「アマリリス」

東西四大学OB合唱団東海

弦楽アンサンブル：オーネン

ソプラノ：橋爪 圭子

メゾソプラノ：夏目 久子

ピアノ：西野亜理紗

水野 勝

指揮：向川原慎一

成田 正人

絵書きと少年

ソプラノと男声合唱によるファンタジー

作・なりた まさと

女声・男声・弦楽アンサンブル

帰れソレイユへ カタリ・カタリ
セビリアの理髪師より 他

アイシテールノ・ウンターノ・イタリアーノ

男声合唱
愛のシューべルト
Die Nachtigall Geist der Liebe 他

1999年4月17日(土)
4時開場：4時30分開演
しらかわホール

全席自由 2,000円

